

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 ChainLink	 Sui	 Stacks
中堅	 Worldcoin	 Ondo	 Hamster Kombat
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 10/31

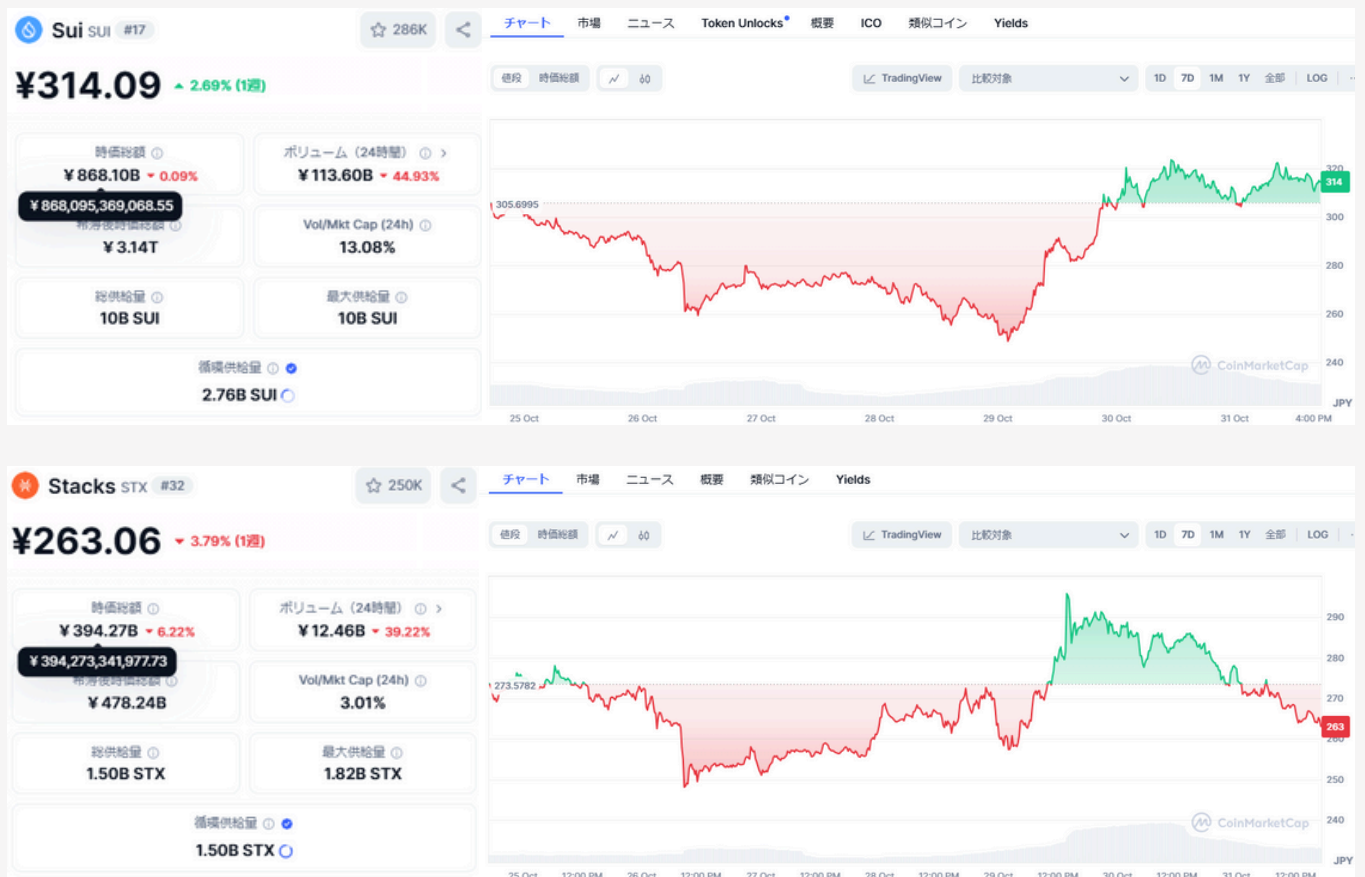
本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題になっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#14	 ChainLink	Platform	¥1,157,041,949,441	¥1,845.80	10.82倍 (SOL比)	▲7.22%
#17	 Sui	Layer1	¥868,095,369,068	¥314.09	55.80倍 (ETH比)	▲2.69%
#32	 Stacks	Bitcoin Ecosystem	¥394,273,341,977	¥263.06	—	▼3.79%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲7.91%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

※直近の市場動向については、米大統領選の影響で市場全体的に価格の乱高下が見込まれます。投資検討の際は、焦らずにタイミングを上手に見極めてください。

Chainlink：LINK

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：大型アップグレード『Chainlink Runtime Environment (CRE)』を発表

10/30 Chainlinkの新しい「CRE」アップグレードにより、ブロックチェーンを使う事業者や開発者が、異なるブロックチェーン同士を安全で効率的に連携させやすくなりました。従来は、異なるチェーン間でデータをやり取りする際、個別の設定や特別なプログラムが必要で、非常に手間がかかりました。特にデータの安全なやり取りは難しく、システムの複雑さが課題でした。

「CRE」では、データ読み取りやAPI呼び出しなどの基本機能がモジュール化されており、開発者はこれらをプロジェクトのニーズに合わせて簡単に組み合わせることができます。これにより、Chainlinkのプラットフォーム上でワークフローを迅速に構築でき開発作業のスピードと効率が飛躍的に向上しました。この結果、事業者はより簡単にクロスチェーンのアプリケーションを構築できるようになり、Chainlinkの技術の需要がさらに高まることが期待されています。

Sui : SUI

本銘柄は、直近3カ月で7度目の選出となります。



注目ポイント：最速MPCネットワークIka、Suiでローンチ

IkaのSuiでのローンチにより、Suiの需要増加が期待される要素がいくつかあります。まず、Ikaが提供する「プログラマブルビットコイン」機能により、ビットコインがSui上のDeFiプラットフォームで活用できるようになり、ビットコインの流動性が増加し、DeFi領域での需要が高まります。また、複数ブロックチェーンからの流動性がSuiに集まることで、Suiベースのプラットフォーム全体の取引活発化が見込まれます。さらに、Suiの分散型カストディソリューションとMPC技術による高度なセキュリティは、金融機関など大規模投資家に対しても安心感を提供し、新規参入を促進する要因となるでしょう。11/3にアンロックイベントがある点には留意が必要です。

Stacks : STX

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：注目されている『Stacks Nakamoto』のアップグレードがリリース

以前から注目されている『Stacks Nakamoto』アップグレードが予定通り行われました。このアップグレードにより、Stacksはビットコインのブロック生成から独立し、トランザクション速度が大幅に向上しました。さらに、sBTCトークンが導入され、ビットコインユーザーがStacksエコシステムを利用しやすくなったことで、ビットコインとStacksの相互運用性が強化され、STXのユーティリティが拡大します。また、Stacksはビットコインを基盤にしたLayer 2として、Web3アプリの開発を促進しており、エコシステムの拡大とともにSTX需要が増加すると期待されています。ただし、このアップグレードは以前から注目されてきたため、リリースされたという事実だけでは十分ではないことには留意が必要です。

仮想通貨業界が停滞してしまう理由に関する考察

仮想通貨業界が他の新興産業に比べて普及が進まない理由として、「競争的な詐取行為」の蔓延が挙げられています。業界内では新しいアイデアが利益を生むとわかるとすぐに無数のコピーが現れ、それを利用して利益を得ようとする行為が目立ちます。このため、元々の革新性や新鮮さが失われ、業界全体の価値が下がってしまう傾向があります。

例えば、NFTやGameFi、ミームコインなど、登場した当初は革新的だった技術やトレンドも、多くのコピーによって価値が薄れ、持続性が損なわれています。さらに、業界内でのコラボレーションやサポートが不足しており、互いに協力し合って成長を目指すよりも、自己利益を優先する競争的な行動が主流となっています。直近では、AIエージェントなど、今後の強気相場で新たなトレンドが生まれた際には、革新的なプロジェクトに似た多くのコピーや詐欺が出回る可能性があるため、十分にご注意ください。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 10/31

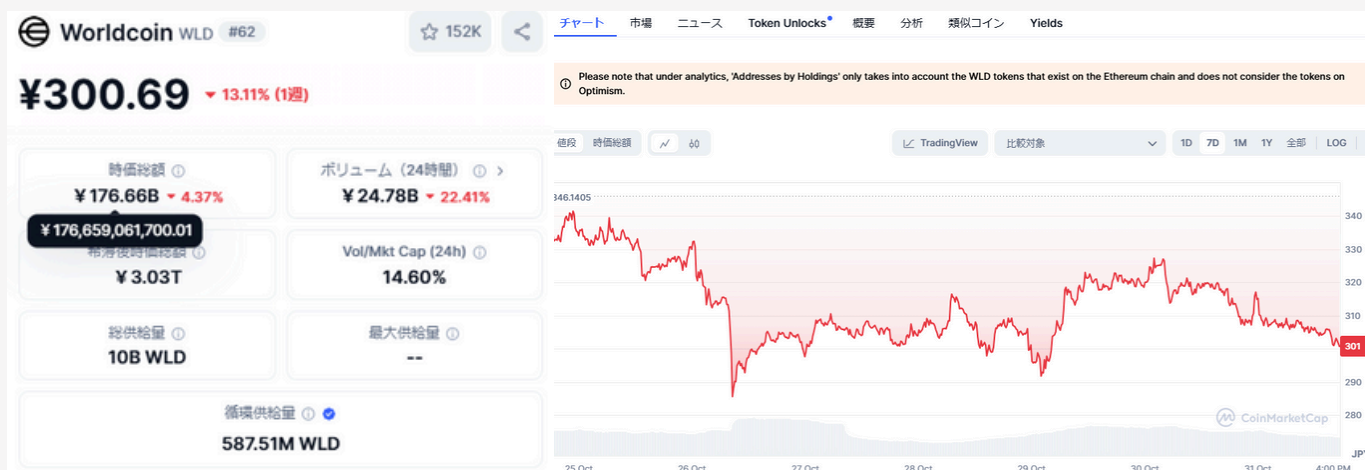
このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#62	 <u>World</u>	Identity	¥176,659,061,700	¥300.69	—	▼13.11%
#68	 <u>Ondo</u>	RWA	¥149,502,539,322	¥107.57	—	▼5.83%
#255	 <u>Hamster Kombat</u>	Gaming	¥27,129,662,716	¥0.42	2.98倍 (IMX比)	▼18.4%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲7.91%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

※直近の市場動向については、米大統領選の影響で市場全体的に価格の乱高下が見込まれます。投資検討の際は、焦らずにタイミングを上手に見極めてください。

World : WLD

本銘柄は、直近3カ月で5度目の選出となります。



注目ポイント：Worldcoinのリブランディングと「World」への改名

World（旧Worldcoin）は、リブランディングを行い、新たに「World Chain」と「Orbデバイス」を導入しました。これにより、NVIDIAチップセットを活用した高効率な人間認証が可能となり、Ethereumレイヤー2を基盤とするWorld ChainはOptimismやUniswapなどと連携し、スケーラビリティと分散化が強化されています。

WLDトークンの需要増加には、この信頼性に基づくデジタルIDのニーズが影響します。特に、詐欺やAIボットが増える中での「人間証明」の重要性は高まっており、新機能「World Pay」や「World Chat」により、ユーザーは実用的なユーティリティを享受できるようになっています。10億ユーザー目標の進展がWLDへの需要拡大につながると期待されています。



Wellington Management（運用資産総額1兆ドル超）がOndo Financeと提携し、米国財務省債券を
対象としたトークン化ファンド「Delta Wellington Ultra Short Treasury On-Chain Fund」を立ち
上げました。これにより、伝統的資産がブロックチェーンでデジタル化され、24時間の即時償還が可能と
なります。この提携で、トークン化資産がより実用的な担保やクロスボーダー決済手段として利用できる
環境が整い、機関投資家や個人投資家の利便性が向上しました。今回の提携で、オンチェーンでの流動性
が高まることは、ブロックチェーンを活用した投資商品の需要増に寄与すると考えられます。特に安定性
の高い米国財務省債券のような低リスク資産をトークン化することで、伝統的投資家がブロックチェーン
市場に参入しやすくなり、Ondoの需要も拡大すると予測されます。

「Hamster Kombat」は、10月末にシーズン2を開始し、暗号通貨取引所をテーマにしたゲーム内容から脱却し、より広範なゲーム開発環境の提供を目指す要素が追加されました。シーズン1で好評だったタップや日々のコンボも継続され、親しみやすさが保たれます。また、現在の「インターラードシーズン」で獲得したダイヤモンドはシーズン2で特典として使え、次のエアドロップも予定されています。この大規模アップデートは、プレイヤーの参加意欲をさらに高めることを目的としています。Hamster Kombatの総トークン供給量は1000億で、そのうち750億トークンがコミュニティ向けに配分されています。この供給の60%はシーズン1終了後にエアドロップされ、**残り15%はシーズン2で配布される予定**です。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間のCMC推移
対象銘柄なし						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>